

虹にむかって

多世代交流事業

つどい・つながる・KIRAKIRAマルシェ

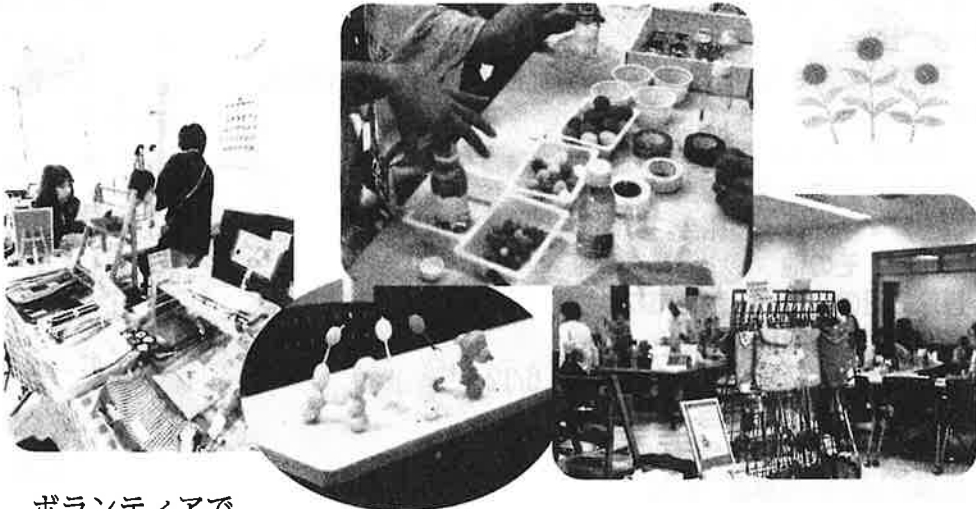
6月30日(日)10時からナシオンホールで開催されたKIRAKIRAマルシェには、朝からの雨模様にもかかわらず、子どもから高齢者まで、160名の人でにぎわいました。



この催しは、「東山台のキラキラ応援します！東山台でつけた素敵な自宅サロン！」と題し、2013年の新春のつどいで初開催。ユニークなネーミング

が若い方にも好評で、子ども同士やファミリーで来られる方、誘い合わせてきてくださる方など、世代を超えてたくさんの方のつどい場となりました。

会場に並んだお店は、アロマクラフト、アクセサリー、天然石カラーセラピー、布小物、竹細工、センサーロボット…など、ハンドメイド作家による展示販売やその場で体験制作するワークショップから、新鮮野菜、焼き菓子、自家焙煎珈琲もありました。



ボランティアで参加した西宮市社協職員のバレーンで作った動物たちも賑わいに花をそえ、喫茶コーナーで一休みしながらおしゃべりを楽しむ方も多く、2時の閉店までがあったという間でした。



社協活動は、一人でも多くの方に地域での知り合いを増やしていただくことが目標の一つでもあります。出展者、来場者が共に楽しめるつどい場を今後も設けていきます。



高齢者福祉部会研修

「あなたの遺言書、法務局が預かります」



7月9日ふれあい屋食会終了後に、神戸地方法務局西宮支局の田村総務課長を講師に迎え「自筆証書遺言保管制度について」の研修会を行いました。

自筆の遺書は、自分ひとりでいつでも作成できますが、自宅で保管すると、紛失、改ざん、隠匿などの恐れがありました。見つけてもらえなかったり、勝手に処分されたりするデメリットを解消する方策として令和2年7月10日にこの制度が誕生。

1通につき3,900円で更新料もなく保管でき、遺言者にも相続者にもメリットのある制度の利用上の留意点、作成方法の概略を学び、「いつでも利用できることに安心感をもった」「今まで考えたことがなかったが、参考になった」などの感想がありました。

